

事務事業調査

平成26年度

事業No	722	課	生涯学習課	係	施設管理係	起案者	深谷英衛
						決裁者	大見智
事務事業名					公民館施設管理事業	事業種別	施設管理

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 2 成人・高齢者の学習 1 学習機会の提供 1 学習環境の充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	50-25-10	
				総合計画以外の計画	4-2-2、安城市公共建築物保全計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	安城市公民館の設置及び管理に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和56年度	経過	33年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	公民館利用者が		~になる	快適に施設を利用できるようになる。	
事務事業の内容	施設の利用に係る受付事務及び施設の維持に係る改修・修繕・委託事務を実施します。					
改善・対策の履歴	平成23年度 電気設備改修(文化センター) 外壁補修(桜井公民館・安祥公民館) 平成24年度 空調設備改修(桜井公民館) 平成25年度 空調設備改修(二本木公民館)					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	482,226	446,691	405,859	389,271	348,558	
財源計	428,676	386,841	346,009	329,421	288,428	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他()	47,114	49,233	45,600	48,540	42,800
	一般財源	381,562	337,608	300,409	280,881	245,628
受益者負担金	47,114	49,233	45,600	48,540	42,800	
職員人件費 (従事職員数)	53,550 (8.50)	59,850 (9.50)	59,850 (9.50)	59,850 (9.50)	59,850 (9.50)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	280	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動1	活動名 (活動内容)	施設の利用受付及び維持管理	見込	11.00	11.00	11.00	11.00
			実績	11.00	11.00	11.00	
	指標名 (単位)	公民館数(館)	活動の総事業費(千円)	482,226	446,691	389,271	
			活動にかかるコスト(千円)	43,838.73	40,608.27	35,388.27	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	部屋利用率＝利用部屋数÷利用可能部屋数(%)		目標	42.00	42.00	43.00	43.00
			実績	41.00	42.50	42.20	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成
成果2	クレーム件数＝クレーム台帳及び利用者の声等件数(件)		目標	16.00	13.00	12.00	10.00
			実績	14.00	3.00	12.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> 公民館利用者数 平成23年度 部屋貸し905,743人、その他310,070人、合計1,215,813人(1館当たり110,528人) 平成24年度 部屋貸し907,533人、その他303,793人、合計1,211,326人(1館当たり110,120人) 平成25年度 部屋貸し912,221人、その他299,514人、合計1,211,735人(1館当たり110,157人) 定期的な改修と速やかな修繕により、快適な施設環境を提供することができました。施設の老朽化により設備等の不具合が増えています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	<p>事業費は、主に施設の改修工事の有無とその内容によって変動します。改修工事は、公共建築物保全計画等に沿って施工しています。</p> <p>【工事請負費】平成23年度148,467,900円 平成24年度129,885,000円 平成25年度 81,165,000円</p>	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 部屋の利用率は、ほぼ横ばいの状況です。新規の利用者が増えていないことが原因であると考えられます。 クレーム件数は、利用者からのクレームに対して適切に対応するとともに、接遇研修等により職員の資質向上を図り、目標を達成することができています。 	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<p>快適な施設環境を整備することが利用率の向上につながると思います。今後は、そのための改修や修繕が増え、事業費が増加が見込まれます。必要な改修や修繕を適切に行う一方で、保守点検等の委託業務の内容の見直しや省エネによりコストの削減を図ります。また、積極的に利用者から意見を収集し、施設環境の整備に反映させるよう努めます。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>快適な施設環境の実現のために、必要不可欠な事業です。事業費の増加を抑えるため、コストを意識したより効率的な事業の推進が求められます。</p>